



SuMPO環境ラベルプログラム (SuMPO EPD)

Third party verified
Environmental Product Declaration

Confromance with

ISO14025

ISO14040

ISO14044



IG KOGYO

アイジーアイダ株式会社

IG KOGYO Co., Ltd.

耐火金属サンドイッチパネル

Fireproof metal sandwiched panel



登録番号
SuMPO-EPD-2512-62-1

検証合格日
2025/12/25

公開日
2026/1/9

検証有効期間
2030/12/24

EPDタイプ
グループ製品EPD

※更新された場合は初版公開日

追加の準拠規格

ISO21930 : 2007

EPDは検証期間であっても、更新または公開が中止となることがあります。
EPDの最新版および有効性を確認するには以下を確認してください。
<https://ecoleaf-label.jp/epd/search>

● 基本情報

> プログラム情報

プログラム名称	SuMPO環境ラベルプログラム
プログラムオペレーター	一般社団法人 サステナブル経営推進機構
所在地	東京都千代田区内神田1-14-8 KANDA SQUARE GATE 4F
ウェBSITE	https://ecoleaf-label.jp

> GPI・PCR情報

GPI	SuMPO EPD Japan General Program Instructions v.2.1.1
PCR名称	建材及び建設製品v.2.0.1
PCR登録番号	SuMPO-PCR-01000-2-0-1
PCR認定日	2025 / 3 / 31
レビューパネル委員長（所属）	伊香賀 俊治（慶應義塾大学 名誉教授、一般財団法人住宅・建築 S D G s 推進センター 理事長）
PCR有効期限	2030/3 / 30
PCR発行者	一般社団法人 サステナブル経営推進機構

> 検証情報

検証の種類	ISO14025及びISO21930:2007に従った第三者検証		
	<input type="checkbox"/> 内部	<input checked="" type="checkbox"/> 外部	
	<input checked="" type="checkbox"/> 検証員による 第三者検証	<input type="checkbox"/> 検証機関による 第三者検証	<input type="checkbox"/> EPDシステム認証 による第三者検証
検証実施者（所属）	内藤 壽夫		

> 準拠規格

準拠規格	<input checked="" type="checkbox"/> ISO14040:2006	<input checked="" type="checkbox"/> ISO14044:2006	<input type="checkbox"/> ISO14067:2018
	<input checked="" type="checkbox"/> ISO14025:2006	<input checked="" type="checkbox"/> ISO21930:2007	<input type="checkbox"/> ISO21930:2017
	<input type="checkbox"/> EN15804+A2	<input type="checkbox"/> EN50693:2019	<input type="checkbox"/> ISO/IEC63366:2025

EPDに記載の情報及びEPDに記載の情報に関する環境主張についての責任はEPD取得事業者が持ります。EPDの内容に関するご不明点、確認事項については、EPD取得事業者までお問い合わせください。

EPDの比較は、建設製品の機能を十分に考慮した上で実施されなければならないため、建設製品における建材のライフサイクル全体を考慮し、建設製品において同等の用途を想定したシナリオを適用している必要があります。EPDの比較の際に考慮すべき条件は本宣言が使用するPCRを参照してください。

EPDが宣言単位に基づいている場合、比較は機能単位あたりで行われなければなりません。

環境影響評価結果はあくまで相対的な数値です。数値の大きさにより環境への影響を一概に結論づけられるものではありません。また、算定した数値は環境への具体的な影響の大きさや安全性（閾値を超過しているか等）、リスク評価（環境や人間にどれだけの影響を及ぼすか等）を直接示すものではありません。

加重平均を用いた算定の場合、ライフサイクル影響評価結果及びライフサイクルインベントリ分析関連情報、廃棄物関連情報、出力フローに関する環境情報は、特定の製品についての情報ではありません。

● EPD取得事業者情報

事業者名・部署名	アイジー工業株式会社カーボンニュートラル推進室
住所	山形県東根市蟹沢上縄目1816-12
問い合わせ先	0237-43-1830
LCA算定実施者（所属）	アイジー工業株式会社カーボンニュートラル推進室 安達 信樹
事業者概要	事業内容：主に建築用断熱外壁材（金属サイディング・金属サンドイッチパネル）及び金属屋根材の研究開発、製造、販売

●製品情報

製品名称	耐火金属サンドイッチパネル			
製品の型式	RZ75/RZ75V			
製品仕様	製品機能	厚さ75mm。軽量で断熱性、防耐火性に優れ、パネル単体で耐火構造認定を取得。		
	製品質量	24.85kg	換算係数 24.85kg/m ²	
	製品の用途	鉄骨造の非住宅建物の外壁材として使用		
	技術性能	1時間耐火構造認定、不燃材料認定		
耐用年数	年数	施工された建物等の使用期間に準ずる		
	使用条件	施工された建物等の使用条件に準ずる		
	年数を設定した根拠	-		
製造サイト(製造拠点)	アイジー工業株式会社 水戸工場			
製品概要	一般的に金属サンドイッチパネルと称される、2枚の金属板でロックウールを挟んだ鉄骨造専用の外壁材。主に大～中規模の工場・事務所等に使われている。			
製品ウェブサイト	https://www.igkogyo.co.jp/syohin/detail/rz75.html			

●材料及び物質に関する構成要素

製品構成要素	割合 (%)	質量
鋼板(表材+裏材)	40.1	9.62 kg
石膏ボード	4.7	1.12 kg
ロックウール	49.1	11.77 kg
合成ゴム	0.0	0.00 kg
接着剤	3.9	0.92 kg
パッキン	0.1	0.02 kg
ブランケット	0.2	0.06 kg
保護フィルム	0.2	0.05 kg
その他	0.7	0.17 kg
包装材構成要素	割合 (%)	質量
合板	89.5	0.79 kg
段ボール	0.4	0.00 kg
ポリエチレン発泡シート	4.6	0.04 kg
ストレッチフィルム	5.5	0.05 kg
ポリエチレンテープ	0.1	0.00 kg

※ 製品幅が600mmのものと900mmのものがあるが品番は同一。横型で設置する製品をRZ75、タテ型で設置する製品をRZ75Vと区別している。算定は各タイプの加重平均として算出した。

●生物由来炭素含有量

項目	含有量 (kg-C)	含有量 (kg-CO ₂ eq)
製品あたりの生物由来炭素含有量	-	-
提供元にわたる包装資材の生物由来炭素含有量	-	-

※ 製品幅が600mmのものと900mmのものがあるが品番は同一。横型で設置する製品をRZ75、タテ型で設置する製品をRZ75Vと区別している。算定は各タイプの加重平均として算出した。

●LCA関連情報

> EPDタイプ情報

EPDタイプ	製品タイプ	<input type="checkbox"/> 単一製品	<input checked="" type="checkbox"/> グループ製品	<input type="checkbox"/> 業界製品
	サイトタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 特定サイト		<input type="checkbox"/> 複数サイト
	開示方法	<input type="checkbox"/> 特定値	<input checked="" type="checkbox"/> 加重平均値	<input type="checkbox"/> 代表値
地理的範囲		日本国内		
複数製品/複数サイトを含むEPDにおける代表性の説明		本製品は水戸工場のみで生産されており、代表性は高い		
複数製品/複数サイトを含むEPDにおける、算定結果の上下幅に関する説明		製品幅が600mmのものと900mmのものがあり、また、それぞれ設置の際に横型で設置する製品とタテ型で設置する製品がある。いずれも算定単位当たりの重量差は微小であり、ライフサイクル全体におけるLCIA結果の差異は±10%以内に収まる。		
複数製品EPDの説明		製品幅が600mmのものと900mmのものがあるが品番は同一。横型で設置する製品をRZ75、タテ型で設置する製品をRZ75Vと区別している。算定は各タイプの加重平均として算出した。		

> LCA関連情報

宣言単位	1m ²	
宣言単位当たりの質量 (質量への換算係数)	24.85kg/m ²	
基準フロー（機能単位を満たすために必要な製品数）	該当しない	
システム境界	<input checked="" type="checkbox"/> Cradle-to Gate	<input type="checkbox"/> Cradle-to-Gate with options
LCAソフトウェア	クラウド版MiLCAver.1.2.1	
LCIデータベース	IDEA 3.4	
特性化モデル	気候変動：IPCC 2021 GWP 100a、その他の影響領域：LIME2	
その他のバックグラウンドデータ	なし	
二次データ品質	GPIに規定の二次データ品質を満たしたデータを用いて算定を行った。なお、データ品質評価はISO 14044：2006（環境マネジメント－ライフサイクルアセスメント－要求事項及び指針）の4.2.3.6に従って行った。	
一次データ収集拠点	アイジー工業株式会社 水戸工場	
一次データ収集期間	2024年4月～2025年3月	
生物由来炭素の取り扱い	<input checked="" type="checkbox"/> 0/0アプローチ	<input type="checkbox"/> -1/+1アプローチ
電力契約に関する情報	使用有無	<input checked="" type="checkbox"/> 国や地域の平均的な電力ミックス
	種類	－
	購入日	－
	発行元	－

> 算定対象段階

資材製造段階			施行段階		使用段階							解体段階				境界外 D 潜在的な負荷と便益
A1	A2	A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2	C3	C4	
原材料への輸達	工場への輸送	製造	現場への輸送	施工	使用	維持保全	修繕	更新	改修	エネルギー消費	水使用	解体・撤去	廃棄物の輸送	中間処理	廃棄物の処理	－
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

■ : 算定対象 - : 算定対象外

>アロケーション

本算定では、GPIに記載の手順でプロセスの細分化およびアロケーションを検討した。プロセスの細分化によるアロケーション回避が困難であるためユーティリティデータを同工場で生産される製品の生産数による物理量で配分を行った。

>カットオフ

カットオフは行っていない

>システム境界

PCRに基づき設定を行った。GPIおよびPCRにて境界外プロセスと定められた、A4～Dをシステム境界外としている。時間的システム境界は100年である。

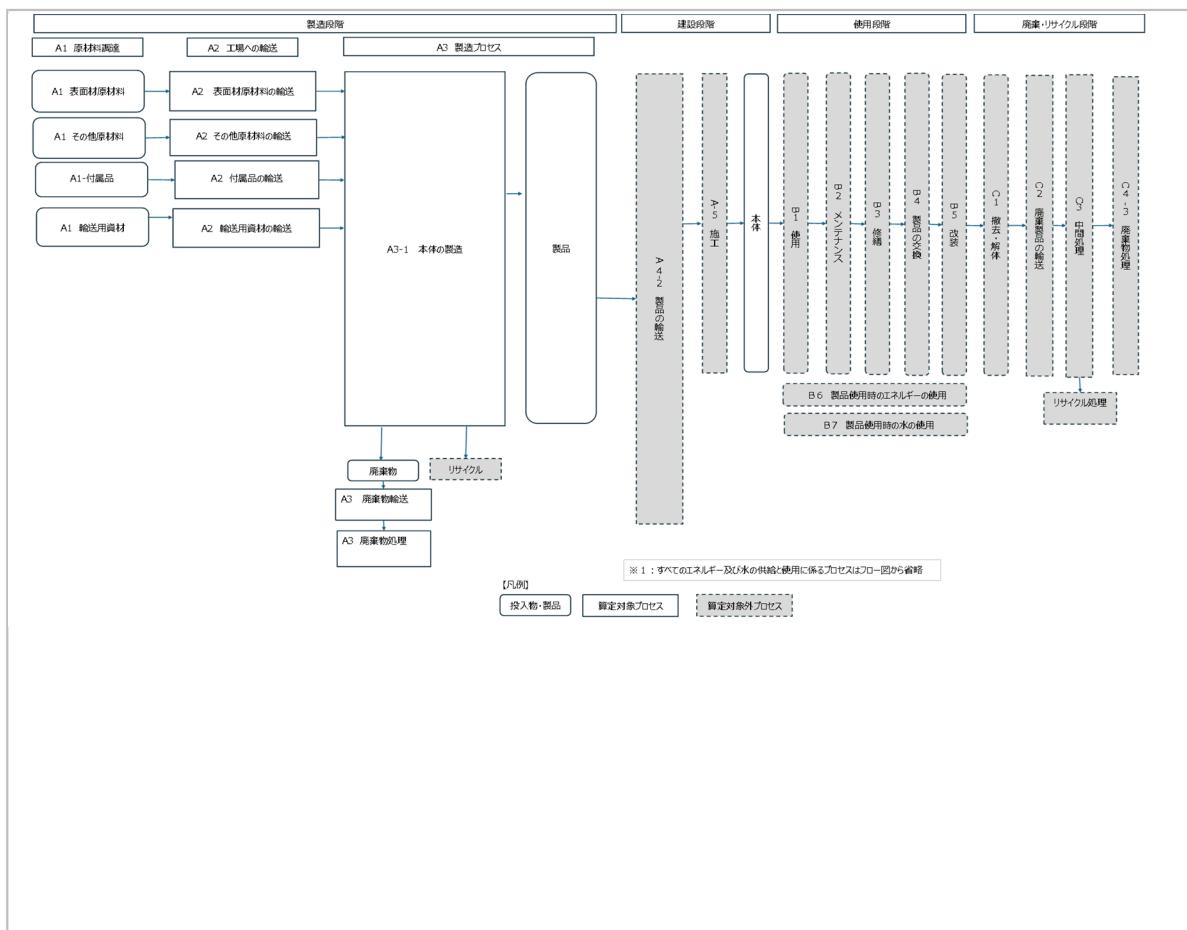
>シナリオ

モジュール	説明
A 2	海外調達品の国内輸送においてシナリオ（距離）と車格についてシナリオを使用した
A3	製造時に排出する廃棄物の輸送においてシナリオ（距離）と車格についてシナリオを使用した

>電力モデリング

対象とする全てのライフサイクル段階において、2021年度における日本平均の系統電力のデータを用いて算定を行った。

> ライフサイクルフロー図



● 算定結果

> ライフサイクル影響評価結果

		資材製造段階				施工段階		使用段階							解体段階				境界外 D
								資材関連					光熱水関連						
		A1	A2	A3	A1-A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2	C3	C4	
気候変動 - 合計	kg-CO ₂ eq	4.79E+01	1.83E+00	1.37E+00	5.11E+01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
気候変動 - 化石由来	kg-CO ₂ eq	4.75E+01	1.83E+00	1.37E+00	5.07E+01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
気候変動 - 生物由来	kg-CO ₂ eq	3.72E-01	3.17E-04	8.74E-04	3.73E-01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
気候変動 - 土地利用及び改変	kg-CO ₂ eq	2.51E-02	1.70E-03	9.86E-04	2.77E-02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
オゾン層破壊	kg-CFC-11eq	5.07E-06	5.95E-11	4.22E-08	5.11E-06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
富栄養化	kg-SO ₂ eq	1.69E-04	8.48E-09	9.19E-08	1.69E-04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
酸性化	kg-PO ₄ ³⁻ eq	4.12E-02	2.37E-03	1.05E-03	4.46E-02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
光化学オキシダント生成	kg-C ₂ H ₄ eq	5.16E-04	1.58E-05	1.29E-05	5.44E-04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
追加オプションのライフサイクル影響評価																			
非生物資源枯渇 - 鉱物	kg-Sbeq	2.23E-03	6.90E-09	3.68E-06	2.23E-03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
気候変動 - 航空機輸送	kg-CO ₂ eq	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00														

› ライフサイクルインベントリ分析関連情報—一次資源の使用に関する指標

>ライフサイクルインベントリ分析関連情報—二次資源の使用に関する指標

>ライフサイクルインベントリ分析関連情報—非生物資源-化石燃料、淡水の消費量

Environmental Product Declaration for Fireproof metal sandwiched panel

>出力フローに関する環境情報

> LCA算定結果に関する説明

- ・本EPDにおけるLCA算定では、生産サイトの活動量は一次データを収集しましたが、それに乗じるLCIデータには、一般的な二次データを使用しています。また、一部の輸送距離についてシナリオを適用しました。そのため、結果は概算値となります。
- ・EPDは、状況が変化した場合、更新又は公開が中止されることがあります。EPDの最新版、及び有効性を確認するには、以下を確認してください。<https://ecoleaf-label.jp/epd/>

●追加環境情報

> LCAに関連しない追加環境情報

—

> 有害物質に関する情報

有害物質名	CAS No.	適用される基準または規制の参照
—	—	—
—	—	—
—	—	—

建材および建設製品からの危険物質の放出

—

●用語の定義

—

●参考文献

- ・ISO14025:2006 Environmental labels and declarations — Type III environmental declarations — Principles and procedures
- ・ISO14040:2006 Environmental management - Life Cycle Assessment - Principles and framework
- ・ISO14044:2006 Environmental management - Life Cycle Assessment - Requirements and guidelines
- ・ISO21930:2007 Sustainability in buildings and civil engineering works — Core rules for environmental product declarations of construction products and services